

松本秀峰 4年生 英国研修終える

英語上達に手応え

県内初の6年制「中等教育学校」として2010年度に開学した私立松本秀峰中等教育学校（松本市）で、後期課程（高校相当）の4年生81人が18日、英国での初の研修旅行を終え、帰国した。ホームステイをしながら英語を学ん



生徒たちは、上達に手応えを感じていた。

7日に出発し、英国東部のケンブリッジでホームステイしながら、ケンブリッジ大学内の語学学校に通った。旅行の後半はロンドンに滞在し、現地の航空、造船会社などを訪問。宮殿で王室文化を学ぶなど、テーマ別研修もあった。同年代の子どもが通う6年制の学校では、松本秀峰について

て英語で紹介した。矢沢瑠宇さん(15)は「英語が通じる頻度がだんだん上がった」と笑顔。堀口栞さん(15)は「最初は不安だったけれど、単語も聞き取れるようになった。もう少し滞在したかった」と名残惜しそうだった。引率した瀬川伸教諭(35)は「生徒はさまざまな人種が暮らす英国を見て視野が広がった」と成果を話した。

ケンブリッジで、ガイドから説明を聞く生徒たち